

平成 25 年 4 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

フェムトグロースキャピタルファンドの設立について

～磯崎哲也氏と共同でアーリーステージのインターネット関連企業の成長を支援～

当行は、インターネット関連のベンチャー企業の投資、育成に多くの実績を有する磯崎哲也氏と共同で、国内のアーリーステージのインターネット関連企業に対する投資と成長支援を行う「フェムトグロースキャピタル投資事業有限責任組合」(以下、「フェムトグロースキャピタルファンド」)を平成 25 年 4 月 8 日付で設立いたしました。

フェムトグロースキャピタルファンドに対しては、独立行政法人中小企業基盤整備機構(東京都港区、理事長 高田 坦史)、当行、クレーション・キャピタル株式会社(東京都港区、代表取締役 細谷 耕一)および株式会社インターリンク(東京都豊島区、代表取締役 横山 正)が、総額 16 億円の LP 出資(有限責任組合員としての出資)を行います。同ファンドの業務執行は、磯崎氏と、当行の 100%子会社である新生企業投資株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平、<http://www.shinsei-ci.com/>)が 50%ずつ出資して設立した「フェムトグロースキャピタル有限責任事業組合」(フェムトグロースキャピタル LLP)が行います。

同ファンドでは、インターネットにおいてプラットフォームビジネスや金融サービスなどを行うアーリーステージのベンチャー企業を投資対象とし、1 社あたり数千万円から 3 億円程度の株式投資を行うとともに、磯崎氏が中心となって実践的な成長支援を提供することを特徴としています。また、当行も同ファンドに人材を派遣し、磯崎氏と共にベンチャー企業の発掘や企業価値の最大化の支援を行ってまいります。

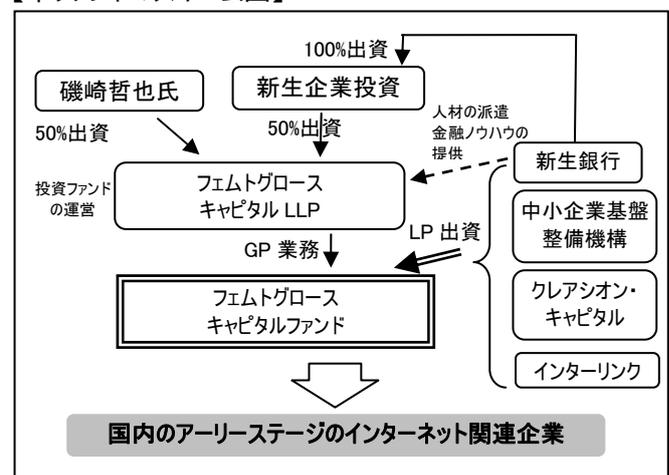
磯崎氏はカブドットコム証券株式会社の社外取締役や株式会社ミクシイの社外監査役をはじめとして、数多くのベンチャー企業の設立、成長、上場、M&A などに関わってきました。また、平成 24 年 1 月に「有限責任事業組合フェムト・スタートアップ」を設立し、設立直後(シード期)のインターネット関連ベンチャーの投資、育成支援にも取り組んでいます。当行では、磯崎氏のノウハウと当行の金融機関としての機能やネットワークを活用したファンドの運営により、ベンチャー企業が設立から上場を経て、日本を代表する企業に成長するまでを一貫して支援できる体制の構築が可能になると考えております。

当行のプライベートエクイティ業務においては、従前より、競争力と成長性の高いミドル・レイターステージのベンチャー企業に Pre-IPO 投資を通じて積極的に成長資金の提供を行ってきており、その一環として、平成 24 年 7 月には株式会社 gumi と共同でアジアを中心としたアーリーステージのモバイルエンタテインメント企業向け投資ファンドを設立するなど、投資ファンドの組成、運営のノウハウも蓄積してまいりました。企業投資事業を一層強化、推進するため、平成 24 年 11 月に新生企業投資を設立し、本件は同社を通じた第一号のファンド設立となります。当行では、今後とも新生企業投資を通じて、多様な事業やステージに対応したプライベートエクイティ投資を推進してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称 : フェムトグロースキャピタル投資事業有限責任組合
 設 立 日 : 平成 25 年 4 月 8 日
 出 資 総 額 : 16 億円
 無限責任組合員 : フェムトグロースキャピタル有限責任事業組合
 有限責任組合員 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構
 株式会社新生銀行
 クレーション・キャピタル株式会社
 株式会社インターリンク
 期 間 : 組合期間 7 年
 投 資 対 象 : 国内の初期段階のインターネット関連企業

【本ファンドのスキーム図】



以 上